

**■ 営業実績 (国内;単体ベース)**

		前年比 伸び率(%)
既存店	日商	1.8
	客数	△ 0.5
	客単価	2.3
全店	売上高	0.4

※ 既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

**■ 店舗数**

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	27	41	/	/	/
閉店	26	51			
純増	1	△ 10			
<b>月末店舗数</b>	<b>15,503</b>	<b>15,503</b>	<b>16,426</b>	<b>7,390</b>	<b>23,816</b>

**■ AFC別月末店舗数**

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
327	400	196	<b>923</b>

**当月の総括**

当月は気温上昇に合わせ、本格展開を開始した新フレーバーのフラップ等が好調に推移するとともに、「お母さん食堂」で展開する惣菜も引き続き好調に推移し、中食全体で売上前年比プラスとなった。中食以外でも冷凍食品・加工食品等が牽引し、前年を上回った。これらの結果、既存店日商は101.8%と6ヶ月連続で前年実績を上回るとともに、タバコの押し上げ影響(1%強)を除くベースでも同様に前年クリアした。

[惣菜] 「甘酢あんの酢豚」等のパウチ惣菜が牽引し、前年実績を大きくクリアした。

[おむすび] 併買率の高い惣菜との相乗効果に加え、「スーパー大麦」シリーズ30円引クーポン等の販促施策が奏功し、好調に推移した。

[FF] 新コーヒー仕器の導入効果、および「チーズケーキフラップ」のTVCM等の施策が奏功し、前年をクリアした。

本書のいかなる情報も、ユニーファミリーマートホールディングス株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。また、当社は本書の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。内容についての誤り及び掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。また、内容に関する一切の権利はユニーファミリーマートホールディングス株式会社にあります。

株式会社ファミリーマート 月次営業実績の推移[2019年度]

■営業実績(国内;単体)

前年比伸び率(%)		19/3	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2
既存店	日商	0.8	1.8										
	客数	△ 0.7	△ 0.5										
	客単価	1.5	2.3										

※既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

前年比伸び率(%)		19/3	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2
チェーン全店売上高		△ 1.2	0.4										

■店舗数

	19/3	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2	合計
出店	14	27											41
閉店	25	26											51
純増	△ 11	1											△ 10
月末店舗数	15,502	15,503											15,503

	19/3	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2
ファミリーマート (プロパー)	15,502	15,503										
国内AFC	918	923										
国内計	16,420	16,426										
海外AFC	7,387	7,390										
国内外計	23,807	23,816										

・国内AFC内訳

	19/3	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2
沖縄	326	327										
南九州	398	400										
JR九州リテール	194	196										
国内AFC計	918	923										